

平成24年度第4回 英語学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

日 時：平成24年9月29日（土）11：00～13：00

場 所：私立大学情報教育協会会議室

出席者：山本涼一委員長、田中宏明副委員長、五十嵐義行委員、北出亮委員、
小林悦雄委員、原田康也委員
（事務局）井端事務局長、森下主幹、松本職員

検討事項

1. 本日の記録担当選出
2. 学士力実現に求められる教育改善モデルの検討
 - ・教育改善モデルの編集

検討内容

今回の検討事項は、11月に発刊が決まった冊子の内容に関して、3つの項目に関して最終検討を行うことであった。

まず、これまで議論を重ねてきた英語教育における学士力（英語学士力）実現に求められる教育改善モデル、教育改善モデルを実現に求められる教育力、および教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題に関する原稿について、文言の確認を含めて、最終判断を行った。

1. 教育改善モデルの再確認

到達目標などにある文言を一部修正した。

2. 教育改善モデルの編集および授業の評価シートの作成について

今回の会議では、教育改善モデル2に関する「教育改善モデルの編集」を行った。その際には、なぜ到達目標を身につけなければならないのかを明示するために、その重要性を謳うという視点で授業の仕組みや協働教育の在り方について明記するという方針にしたがって作業を行った。また、作成にあたっては、授業シナリオを描くのではなく、教育の質保証の方法と教育システムを明示した図を作成するという方針で意見の一致を見た。また、大学ガバナンスに理解を深めていただくような簡明なものにすることも注意を払うこととした。

「授業の評価シートの作成」に関しては、2つの授業改善モデルで共通とし、授業改善モデル1に関する授業評価シートの作成を行った。その際のポイントとして、教育内容（アウトカム）の評価と教育システムの評価の両面に関する評価項目を設定し、担当教員と学生だけでなく、協働教育や教育連携を行う他科目の教員による評価視点も盛り込み、評価項目を設定することとなった。

その他の検討事項

本日の会議を最終回とし、課題として残っている「教育改善モデルの編集」と「授業の評価シートの作成」に関しては、担当者で原案を作成したのち委員長と協議をした上で、メール会議で最終的に了解を得ることとなった。